

# ぎんやんにき通信

「銀屋んにき」/長崎弁で銀屋周辺の意



## 上柿元勝シェフの特製スープを提供

昨年12月15日、クリスマスメニューとして、上柿元勝シェフの特製スープを、入院患者の皆さんへ提供しました。また、心のこもったシェフのスープは毎回大好評で、今年も患者さんの笑顔が見られました。在宅リハビリテーションぎんやのご利用者さんへは、シェフの特製クッキーを提供。お腹も心も満たされる、嬉しいクリスマスプレゼントとなりました。

### 上柿元勝氏おもな経歴

「現代の名工」「黄綬褒章」「フランス農事功労章」オフィシエ受章 / 長崎リハビリテーション病院 特別顧問 / 香川栄養大学 非常勤講師 / NHK「きょうの料理」講師 / クラブ・デュ・タスキドール 会長 / 日本エスコフィエ協会 副会長 / 全日本食学会 理事 / 柴田書店より『ソース』『キューッソ』出版。『ソース』は、中国、韓国、台湾で出版。



当院では、2018年より、料理人上柿元勝氏に「食のアドバイザー」特別顧問として、当院の食の分野の発展に、寄与していただいております。

## ◆ 診療実績・施設基準実績 令和4年8月～令和5年1月(6カ月間)

患者数		新規入院患者数 疾患別人数・平均在院日数		
新規入院患者数	247人	疾患名	疾患別人数	平均在院日数
退院患者数	272人	脳血管疾患	155人	103.9日
外来患者数(延べ)	4,379人	運動器疾患	80人	67日
		廃用症候群	11人	56.7日
		適応外疾患	1人	36.6日

新規入院患者内訳			
	男	女	合計
人数	116人	131人	247人
65歳～74歳の割合	32.8%	20.6%	26.3%
75歳以上の割合	37.9%	61.8%	50.6%



### 一般社団法人是真会 理念

地域リハビリテーションを推進し、地域に貢献する

「障害のある子供や成人・高齢者とその家族の人としての尊厳を守り、住み慣れたところで安心して、その人らしく、生き生きと生活できるように質の高いリハビリテーションサービスを提供する」という「地域リハビリテーションの理念」の実現を法人の理念として掲げる。

### 編集後記

コロナ禍で、自由に面会ができない中、ご家族が安心できる内容にしたいと今号の企画はスタートしました。当院での入院生活を、少しでもお伝えできたらと思っています。表紙は3年振りに開催された「長崎ランタンフェスティバル」。町全体があたたかい光に包まれる中、当院からすぐの中島公園会場では、美しい光が中島川の水面を彩りました。ランタンの光を見て心癒されるように、今号がご家族にとってほっと安心できる内容になっていたら嬉しいです。

一般社団法人 是真会  
長崎リハビリテーション病院  
在宅支援リハビリテーションセンターぎんや

〒850-0854 長崎市銀屋町4番11号  
TEL.095-818-2002  
FAX.095-821-1187

発行 / 一般社団法人 是真会  
2023年2月 vol.19  
企画・編集 / 一般社団法人 是真会



中島川



一般社団法人 是真会  
長崎リハビリテーション病院  
在宅支援リハビリテーションセンターぎんや

vol.19  
2023.2

# 長崎リハビリテーション病院の1日



コロナ禍で、ご家族でさえ自由に面会ができない状況が続き、患者さんのご家族や、ご友人の中には、どのような入院生活をしているのだろうと心配している方もいらっしゃるのではないでしょうか。そこで、今号では、患者さんのご協力のもと、当院での1日に密着させていただきました。

## 入院生活全体がリハビリです

患者さんの1日は、基本的に右のようになっています。専門職によるリハビリはもちろん、入院中の生活の場である病棟では、看護師や介護福祉士が中心となり、「食堂に行く」「お風呂に入る」など、日常生活をイメージしたリハビリを行います。入院生活を通して、患者さんの機能回復・能力向上と社会復帰を促進しています。

7:00	朝の身支度	随時
8:00	朝食	
9:00	理学療法、作業療法、言語聴覚療法、検査など	
12:00	昼食	
13:00	理学療法、作業療法、言語聴覚療法、検査など	
18:00	夕食	
19:00	就寝の準備など	
22:00	消灯	入浴 個別の余暇活動 自主トレーニング 集団での体操 レクリエーション など

## 入院から退院までの流れ

- 入院** 入院当日に担当スタッフ全員による合同評価と入院環境調整を行います。
- 入院時カンファレンス** 患者さんやご家族のお気持ちを元に、担当スタッフがリハビリテーションの計画を立てます。
- 環境チェック訪問** 住居の屋内外の環境、周辺環境、入院前の生活状況を確認し、リハビリテーション計画に役立ちます。
- 定期カンファレンス** リハビリテーションの効果と目標の検証を行います。月1回行っています。
- 地域訪問** 退院にむけての実際の動作を確認し、自宅の改修や必要な福祉用具などの検討や助言を行います。
- 地域カンファレンス** 退院後に関わる、かかりつけ医や地域の関係スタッフを交えて支援計画を協議します。
- 退院** 退院後も患者さんが安心して生活を送れるよう支援します。

## とある1日

※記載している時間は取材日のものであり、患者さんのスケジュールは毎日異なります。

7:00

## 朝晩、毎日着替える



一般的に入院すると1日中入院着で過ごすことが少なくありません。しかし、当院では、朝、晩着替えます。入院着で過ごす気持ちまで病人となり、活動意欲も低下してしまいます。1日のメリハリをつけ、日中は普段着に着替えて、活動的に動けるように取り組んでいます。

朝起きたら、普段着に着替えます。

13:00 入浴



家庭用のお風呂

入院中は週に3回以上はお風呂に入ります。当院には、一般的な家庭のお風呂はもちろん、患者さんに合わせて機械のお風呂もあります。お風呂は滑りやすく危険な場所ですが、全身の清潔を保ち、リラックスできるよう、その人にあった入浴方法を検討しています。※1人で入浴できる方は、週3回以上入浴が可能な場合もあります。

16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00

8:50 検温、血圧測定

1日1~2回、検温や血圧測定があります。健康管理が自分できるように食事や薬、血圧管理などを指導しています。



18:00 食事



パントリーキッチン

本日のメニュー  
ご飯  
回鍋肉  
春雨の中華酢の物  
ワタンスープ  
くだもの

入院食は、運ばれてきた食事を自室でとることが多いですが、当院では食堂でとります。病棟にはパントリーキッチンがあり、患者さんの目の前で仕上げ調理を行っています。温かい食事を提供でき、おいしそうなにおいや音で、食欲もそられます。食器は陶器製で、食事を楽しみ、見た目もおいしく味わえる工夫をしています。

食堂に移動して、食事をとりつめます。

当院の食へのこだわり



随時

## 理学療法・作業療法・言語聴覚療法

### 理学療法士

11:00~12:00 14:40~15:20

座る、立つ、歩くなどの基本動作能力の回復や維持、および障害の悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法などを用いて、自立した日常生活が送れるよう支援する専門職です。

専門的なマシンの使った運動や、外で歩く練習をしました。



スタッフひとことメモ

### 作業療法士

13:40~14:20

生活をしていくために必要な能力の開発や、手段の獲得を通じて、人それぞれに応じた生活方法の習得を支援する専門職です。

台所で食器洗いの練習をしました。



### 言語聴覚士

9:00~9:40

ことばによるコミュニケーションに問題がある方や食べることに問題がある方に対し、専門的サービスを提供し、自分らしい生活が築けるよう支援する専門職です。

カードに書かれている物の名前を伝える練習でした。



スタッフひとことメモ

驚かれる方もいますが、理学療法・作業療法・言語聴覚療法は入院当日から始まります。身体の回復のためには、早い段階から始めることがとても大切だと考えているからです。土・日・祝日も含め、365日、1日あたり最大で3時間行っています。



## 退院前カンファレンス

退院前カンファレンスとは、入院中の経過や、生活状況から、退院後の生活で予測される問題やその対応について話し合いをする会のことです。退院間近になると、嬉しさ半面、退院後の生活に不安を感じる方もいらっしゃるかもしれません。患者さん・ご家族や退院後に関わる事業所のスタッフと連携し、退院後に安心して生活できる環境とサポート体制を整え、ご自宅での生活イメージを固めていきます。※コロナ禍の為、外部の方はリモートで参加しています。



他のカンファレンス



## 患者さんの声

3か月にわたる入院生活でしたが、同室の患者さんとのたわいのない会話が、いい息抜きとなりました。とても印象に残っていることは、(専門職の)リハビリの際に、入院前に利用していた通所リハビリのスタッフの皆さんが会いに来てくださったことです。その時はとても心強く、嬉しく思いました。今は、安心して退院ができることを感慨深く感じています。



患者さんの入院生活はいかがでしたでしょうか。

今回ご紹介できたのは一部分になります。

長い方で180日にも及ぶ入院生活のイメージを、少しでもお伝えできれば幸いです。